2019年度（令和元年度）「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番（16）番　福山市立　津之郷　小　学校

1　育成する力（21世紀型“スキル＆倫理観”）

育成する21世紀型“スキル＆倫理観”	課題発見・解決力	コミュニケーション能力	他者とかかわり合う力
めざす子ども像（21 世紀型“スキル＆倫理観”を身に付けた児童生徒の姿）	自ら課題を設定し解決しようとしている。 ・気づきなど自分の考えを入れたノートをとることができる。	言語技術を生かし，根拠を持って相手に分かるように表現しようとしている。 ・相手や目的に応じてわかりやすいように工夫して発表ができる。	多様な考えを受け入れ，他者と共によりよく生きようとしている。 ・異なる意見や立場を尊重しながら，集団を高めることができる。

2　授業の現状

○めあてとまとめが整合した分かりやすい授業づくりに努め，授業展開の型はできているが，教師主導になりがちで児童の主体的な学びになりにくい場合がまだまだ多い。
○落ち着いた学習環境をつくっているが，子ども同士が考えを出し合い，練り合いながら，豊かに表現することには課題がある。

転換

3　めざす授業の姿

○自ら課題を見つけ，多面的・多角的に考えながら，主体的に解決している。
○友だちの考えをじっくり聞きながら，自分の考えを場面や目的に応じて豊かに表現している。
○多様な考えを受け入れ，友だちとともによりよい解決を図ろうとしている。

4　めざす授業に向けた取組の具体

４月からの取組

・「本時にできるようになること」がイメージできる「めあて」を設定し，既習事項や友達の考え等を元に自分の考えを書かせる。
・説得力ある発言や文章にするために，自分の考えを持つ場を設定し，表現力・説得力の視点で評価する。
・友達の発言の意図を考えながら聞き，関連づけた発表の仕方を定着させる。

８月末の状況

・「めあて」に対応した「まとめ」や自分の考えを持ち，ノートに書くことはできつつある。(85%)
・主体的で対話的な学びに向けての教職員の共通理解が不十分で，児童の発言等への評価が出来ているとは言えない。
・自分の考えは持てるようになっているが，友達の発言はまだまだ少ない。

９月からの取組

・自分の以前の考えや友達の異なる考えと比較したり，多面的・多角的にとらえた考えのノート等を紹介し，定着を図る。
・「主体的な学び」について校内研修で協議し，そのイメージとアプローチの方法について共通理解を図る。
・学習前や友達の考えと比較したり取り入れたりした発言を評価し，討議し学習集団が練り合うことの良さを感じられるようにする。

１２月末の状況

・学習前と比較しての自分の考えの変化は自覚できる児童も増えているが，友達の考えを取入れての変容はまだまだである。
・「主体的な学び」のイメージ化やそれに向かうためのアプローチの方法等について校内研修を実施し，共通理解ができつつあるが，取組みについては共有化・共通化がまだ不十分である。
・相手に分かってもらう工夫が不十分でその喜びがまだ味わえたとは言えない。

１月からの取組

・友達の発言に対してどう思うかを意図的に発問し，学習後に友達の考えを取り入れた「振り返り」ができるようにする。
・児童が主体的に学ぶようになる「しかけ」について取組みの交流をし，共有化を図る。
・表現の工夫を身につけ，相手に分かってもらう喜びを味わわせるよう重点的に指導・評価する。

２月末の状況

・学習前や友達の考えと比較した「振り返り」ができつつあるが，まだほとんどの児童とまではいかない。
・教師の発問が減り，教師主導型の授業から脱却しつつある。
・外部講師の招聘等の取組みにより相手に分かってもらおうとする意識は高まってきたが，語彙力や表現力，論理的思考力にまだ課題がある。

5　取組の結果等　　数値は2019年（令和元年）調査等の状況

全国学力・学習状況調査（%）

国語	64（−2）
算数	73（＋5）

（ ）は県平均との差

〈児童生徒質問紙調査〉（%）　（肯定的評価）

自分にはよいところがある	75.0%
先生はよいところを認めてくれる	66.6%
将来の夢や目標を持っている	94.5%
人の役に立つ人間になりたい	97.2%

「基礎・基本」定着状況調査　〈児童生徒質問紙調査〉（%）　（肯定的評価）

学校へ行くのは楽しい	85.0%
「やりなさい」と言われなくても，自分から進んで勉強をしている	77.5%
授業では，課題について，「なぜだろう」「やってみたい」と思う	67.5%
授業では，友だちと話し合うなどし，考えを深めたり広げたりしている	67.5%

暴力行為発生率・不登校児童出現率　（%）　（ ２ ）月末現在

暴力行為	0.0

不登校	0.0

体力つくり改善計画　【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
（男子） 32／48 （女子） 26／48	・20mシャトルランでは，全国及び県平均値以下の割合を大きく減らすことができた。 ・50m走については，男子に少し改善が見られるものの女子は改善が見られなかった。	・反復横とび ・ボール投げ	・反復横とびについては，ラダーを購入し，体育の授業の導入に用いることで俊敏性を高めると共に測定の際は，再度ルールとコツを徹底する。 ・ボール投げについても体育の学習の初めに「ジャベボール」という練習器具を使用するなど楽しんで投球練習ができるようにしていく。 ・家庭学習のがんばりカード，再測定種目に関係のある運動に取組ませる。

目標値	・反復横とび…すべての学年で今回の平均値を3点以上アップする。 ・ソフトボール投げ…今回の平均値を低学年は1m，高学年は2メートル以上アップする。

福山100NEN教育アンケート〔対象：授業者〕（%）

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	100	0
仕事に充実感がある	100	0

児童生徒アンケート（%）　（ １ ）月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	90	10
自分の考えは，認められている	90	10